

県内看護師5千人増

人材育成強化が急務

神奈川県議会議員
民主党・かながわクラブ きしべ
都

7月に発表された県内の就業看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）数は、前回より7・4%増。伸びは7万1594人で、2年前の前回調査から4918人36人から大幅増となり、増えました。不足している看護師は、前回より517人増の5万6674人に、准看護師は471人減の1万864人となりました。

人口10万人あたりの就業看護職員は789・7人で、全国平均の1139人にはまだまだ及ばず、今後の人材育成作強化が必要です。

高齢化社会を支え、知事が進める「健康寿命日本」を達成するには、健康管理、維持への保健指導など、きめ細やかな対応が必要で、医療や介護、保健の現場で

一方、給与や勤務状況、待遇面での課題もあります。数を増やすだけではなく、働き続けられる体制を整え、離職率14%の状況を改善していかなければなりません。せん。昨年の県議会厚生常任委員会でも県の十分な支援・対策を要望しました。

高度な看護が要求される一方、給与や勤務状況、待遇面での課題もあります。数を増やすだけではなく、



みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています

きしへ都政務調査事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

卷之三

人職業人活動

羅 聲 貞 並 著

「あすのなす」

支那の教育

りつい青力を

『くま成と僕』

より強くを保つ

が、うり、強化なね

重一化り即

毒に住はま

五章には

では、お詫びいたします。

す何続務。有

。上は一看有

日は暮す

りた住謹は